



2022年2月21日

各位

株式会社フィスコ
代表取締役社長 狩野 仁志
(JASDAQ・コード3807)
問い合わせ先：
取締役管理本部長 松崎 祐之
電話番号 03(5774)2440 (代表)

営業損失の計上および2021年12月期通期業績予想と 実績の差異に関するお知らせ

当社は、2021年11月12日に公表しました「繰延税金負債、法人税等調整額(損)の計上(個別および連結)および業績予想の修正に関するお知らせ」の2021年12月期通期(2021年1月1日~2021年12月31日)業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 営業損失の内容

暗号資産・ブロックチェーン事業におきましては、暗号資産に対する自己勘定投資を行っており、損益の純額を売上上に計上しております。2021年5月から7月にかけてビットコインを中心とした暗号資産市場の大幅な下落から回復基調にありましたが、年度末にかけて再び価格が下落したことを受けて、保有する暗号資産の評価損などの計上により、売上高△73百万円となりました。

2. 連結業績予想と実績の差異

(1)2021年12月期通期(2021年1月1日~2020年12月31日)

単位：百万円

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益 ※
前回発表予想(A)	百万円 1,176	百万円 156	百万円 275	百万円 4,091	円 銭 89.55
実績値(B)	1,156	130	239	3,801	83.21
増減額(B-A)	△19	△26	△36	△289	—
増減率(%)	△1.68	△16.27	△13.15	△7.08	—
ご参考(前期実績) 2020年12月期	1,119	61	△127	66	1.48

※2020年12月期第3四半期よりネクスグループが当社の持分法適用関連会社から除外となっております。

3. 差異の理由

営業利益および経常利益につきましては、暗号資産・ブロックチェーン事業の売上高の減少によるところが主因で、営業利益は前回予想を 26 百万円下回る 130 百万円、経常利益は前回予想を 36 百万円下回る 239 百万円の経常利益となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益に関しましては、保有する株式会社 CAICA DIGITAL の株式を売却したことによる投資有価証券売却損 349 百万円を特別損失に計上したこと等により、前回予想を 289 百万円下回る結果となりました。

以上の理由により、2021 年 11 月 12 日に公表いたしました業績予想と実績に差異が生じました。

以 上